

配布資料 北京+20 に向けて

JAWW（日本女性監視機構）代表 田中正子

I 北京行動綱領のフォローアップ体制としての NGO レポートの作成

1. レポート「日本 NGO レポート 女性 2000 年会議に向けて」（1999）作成の経緯

1999 年 CSW43 で 「女性 2000」に向けて、政府レポート「北京行動綱領実施に関する質問状への回答」に対する NGO レポートの作成を発表。

日本ではこれに対応して

1999 年 4 月 18 日 日本 NGO レポートを作る会を結成（代表 中村道子）

1999 年 5 月 8 日～7 月 25 日 「日本 NGO レポート」（和文、英文）作成作業。

1999 年 8 月 17～18 日 東アジア会議（韓国）

1999 年 8 月 31 日～9 月 4 日 アジア太平洋地域 NGO シンポジウム（バンコク）

1999 年 10 月 26 日～29 日 ESCAP 主催 2000 年会議準備のための地域 HL 会議で、地域 NGO として参加

2000 年 CSW44 グローバル NGO オルタナティブレポートを取りまとめ 6 月 3～4 日発表

2000 年 6 月 5～9 日 国連特別総会「女性 2000」 グローバル NGO オルタナティブレポートの内容を入れるようにロビー活動

『日本 NGO レポートー女性 2000 年会議に向けて』（和文）

『Japan NGO Alternative Report Towards the Special Session of the UN General Assembly “Women 2000:Gender Equality, Development, and Peace”』

作成には 46 団体が参加

12 領域の担当実行委員

- | | |
|-------------|-----------------------|
| A. 女性と貧困 | 婦人民主クラブ |
| B. 女性と教育 | アジア女性会議ネットワーク |
| C. 女性と健康 | 女性と健康ネットワーク |
| D. 女性に対する暴力 | 暴力防止コーカス |
| E. 女性と紛争 | アジア女性資料センター |
| F. 女性と経済 | 世界女性会議ネットワーク関西 |
| G. 女性の政治参加 | 全国フェミニスト議員連盟 |
| H. 制度的しくみ | 北京 JAC |
| I. 女性と人権 | 国際女性の地位協会 |
| J. 女性とメディア | ジェンダーとコミュニケーションネットワーク |
| K. 女性と環境 | 地球環境・女性連絡会（GENKI） |
| L. 女児 | かながわ女性会議 |

2. JAWW（日本女性監視機構）への移行と「北京+10 のレポート」の作成の経緯

2001 年 JAWW（日本女性監視機構）設立

- (1) APWW（Asia Pacific women's Watch アジア太平洋女性監視機構）との連携
APWW：アジア太平洋地域各国における北京行動綱領と成果運所の実施状況について監視するネットワーク（19 か国、および ISIS, APWLD, IW など 3 団体）
2009～2010 原ひろ子氏が代表を務めた。
- (2) 「日本における北京行動綱領」や『北京宣言及び行動綱領実施のためのさらなる行動』とイニシアティブ』（いわゆる『成果文書』（2000 年）の内容に関して、日本政府の実施状況を監視し、日本政府に対してしてさらなる提案をすること
- (3) つぎの世界女性会議に向けて新しいレポートを作成すること。
そのために北京行動綱領の 12 の重点領域に JAWW 独自の 5 領域を加えた 17 領域を設けた。
- (4) 国連の会議出席者による報告会の開催

代表 原 ひろ子 (現在 田中正子)
副代表 房野桂、橋本ヒロ子 織田由紀子 (房野桂、織田由紀子、近江美保)
顧問 中村道子、(中村道子、原ひろ子)

- ◇ 英文レポート「Japan NGO Report 2004 for Beijing +10」
- ◇ 和文レポート「日本 NGO レポート 2004 北京+10 に向けて」
- ◇ レポートの領域

Part I

- A. 女性と貧困
- B. 女性の教育と訓練
- C. 女性と健康
- D. 女性に対する暴力
- E. 女性と武力紛争
- F. グローバリゼーション・経済・労働
- G. 権力及び意思決定における女性
- H. 女性の地位向上のための制度的な仕組み
- I. 女性の人権
- J. 女性とメディア
- K. 女性と環境
- L. 女兒

Part II

- M. ユース
- N. 男性・男児の男女平等における役割
- O. 高齢女性
- P. 農山漁業・商工女性
- Q. マイノリティ女性

3. レポート「Japan NGO Report 2009 —Beijing +15」(2009)の経緯

2009 世界 5 地域でハイレベル政府間会議を開催することを国連が決定
アジア太平洋地域では、11 月に ESCAP がハイレベル政府高官会議をバンコクで開催、
アジア太平洋各国は、北京行動綱領と「成果文書」の実施状況のレビューを行った。
APWW では、それに先立って、9 月にフィリピン・ケソン市のミリアム・カレッジ
で、北京+10 に向けての NGO フォーラムを開催した。この NGO フォーラムに向け
JAWW では NGO レポートを作成した。(英文のみ)

英文レポートの領域

Part I

- A. 女性と貧困
- B. 女性の教育と訓練
- C. 女性と健康
- D. 女性に対する暴力
- E. 女性と武力紛争
- F. 女性と経済
- G. 権力及び意思決定における女性
- H. 女性の地位向上のための制度的な仕組み
- I. 女性の人権
- J. 女性とメディア
- K. 女性と環境
- L. 女兒

Part II

1. 高齢女性
2. 移住女性
3. マイノリティ女性

4. CSW の優先テーマにもとづくレポート

JAWW では、以上のレポートの他に、毎年、その年の CSW の「優先テーマ」に基づくレポートを作成し、CSW 会場で配布してきた。以下のとおりである。

- 2014 年 CSW58 Millennium Development Goals 1,2,3,and 7 Situations in Japan
 2013 年 CSW57 Violence against Women and Girls in Japan; with special emphasis on violence against women and girls after disaster)
 2012 年 CSW56 日本における農林漁業女性のエンパワーメント～東日本大震災・原発被害からの復興と課題～
 (Empowerment of Japanese Women Engaging in Farming, Forestry ,and Fisheries-Challenges for the Reconstruction from the Great East Japan Earthquake and Fukushima Nuclear Power Disaster
 2011 年 CSW55 女性と女兒の科学教育を完全雇用とディーセント・ワークにつなげる
 (Access and participation of women and girls to education, training, science and technology, including for the promotion of women’s equal access to full employment and decent work)
 2009 年 CSW53 ケアにおける女性と男性の協働：HIV/AIDS をめぐるケアを含む
 (The Equal Sharing of Responsibilities of Women and Men, including care-giving in the context of HIV/AIDS)
 2008 年 CSW52 男女共同参画の推進と女性のエンパワーメントのためのお金の流れ(資金調達)
 (Financing for Gender Equality and the Empowerment of Women
 2007 年 CSW51 「女兒に対する差別と暴力」房野桂, 田中正子 (明石書店)
 「ジェンダー平等達成における男性・男児の役割」原ひろ子、近江美保、島津美和子 (明石書店)

II. レポート『Japan NGO Report 2014 for Beijing +20 』(仮題、英文) の作成の意義

- (1) 北京行動綱領行動 12 の重点領域および女性 2000 年会議の成果文書 6 項目について、この 20 年の国内の総括を書き、特に、新たな問題、まだ達成していない問題をあきらかにするのが目的。
- (2) 2014 年 10 月末～11 月初めに北京+20 に向けての APWW の NGO フォーラムおよび 11 月に予定されている E S C A P の H L 会合で配布する。

III. ジェンダーの視点に立ったこれからの課題

1. MDG s の国内状況 女性の貧困その他、「NGO レポート 2014」の各領域
2. ジェンダーの視点にたつた SDG s
3. 災害リスク削減とジェンダーの主流化 国連世界防災会議に向けて
4. ジェンダーの視点に立つた安保理決議 1325 号に基づく国内行動計画の策定
5. ODA 大綱見直しにジェンダーの視点を

了